

223  
聖徒伝 223

# 主をこそ知り、 真理を見極めよ

エレミヤ書 2章

エルサレムの民への宣告

# アウトライン

## 0. イントロダクション

I. 忘れ去られた最初の愛 2:1~19

II. 認罪なき者の末路 2:20~37

## III. まとめと適用

主をこそ知り

真理を見極めよう

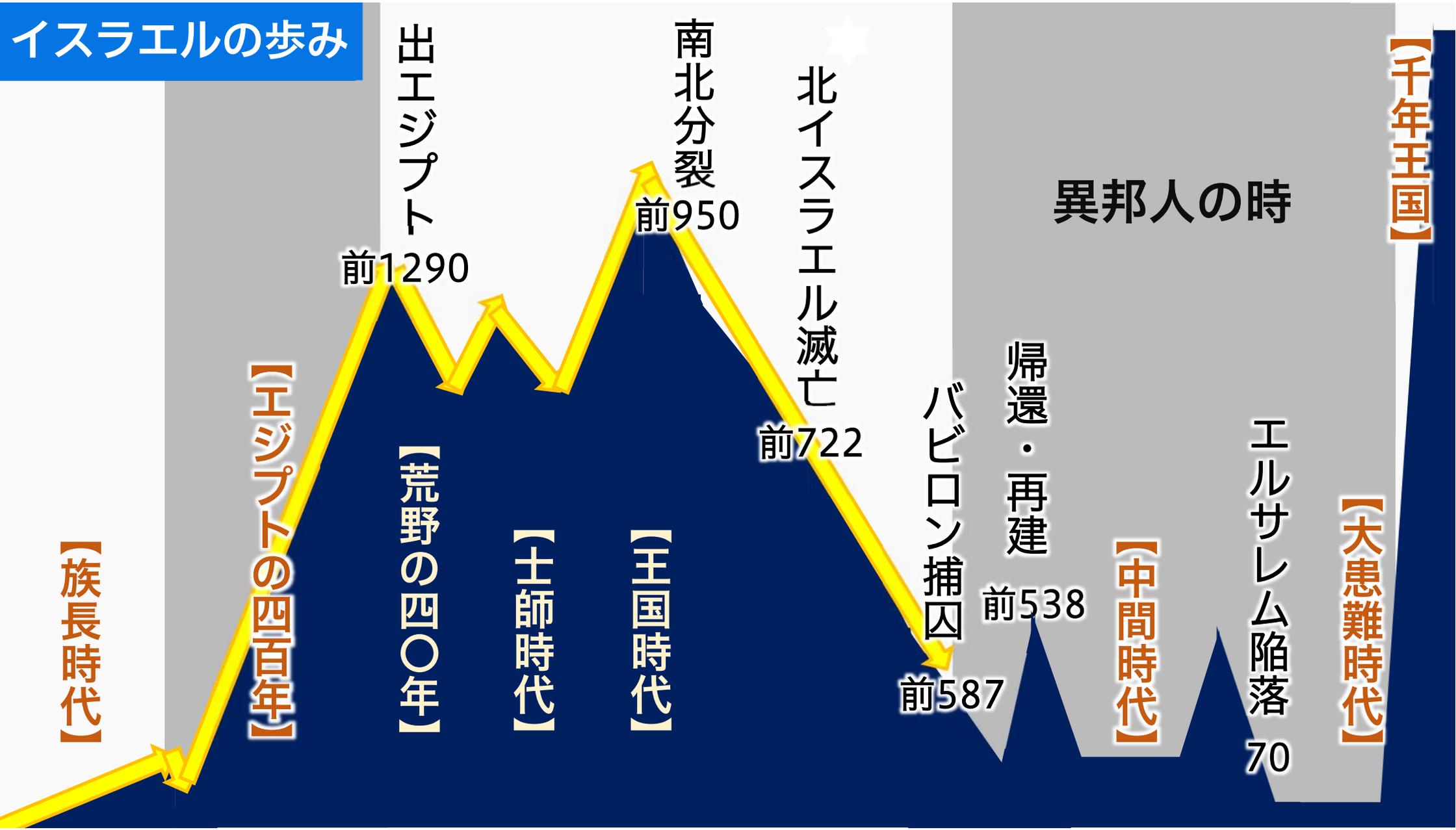
聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会





# 0. イントロダクション

# イスラエルの歩み



前1290

前950

前722

前587

前538

70



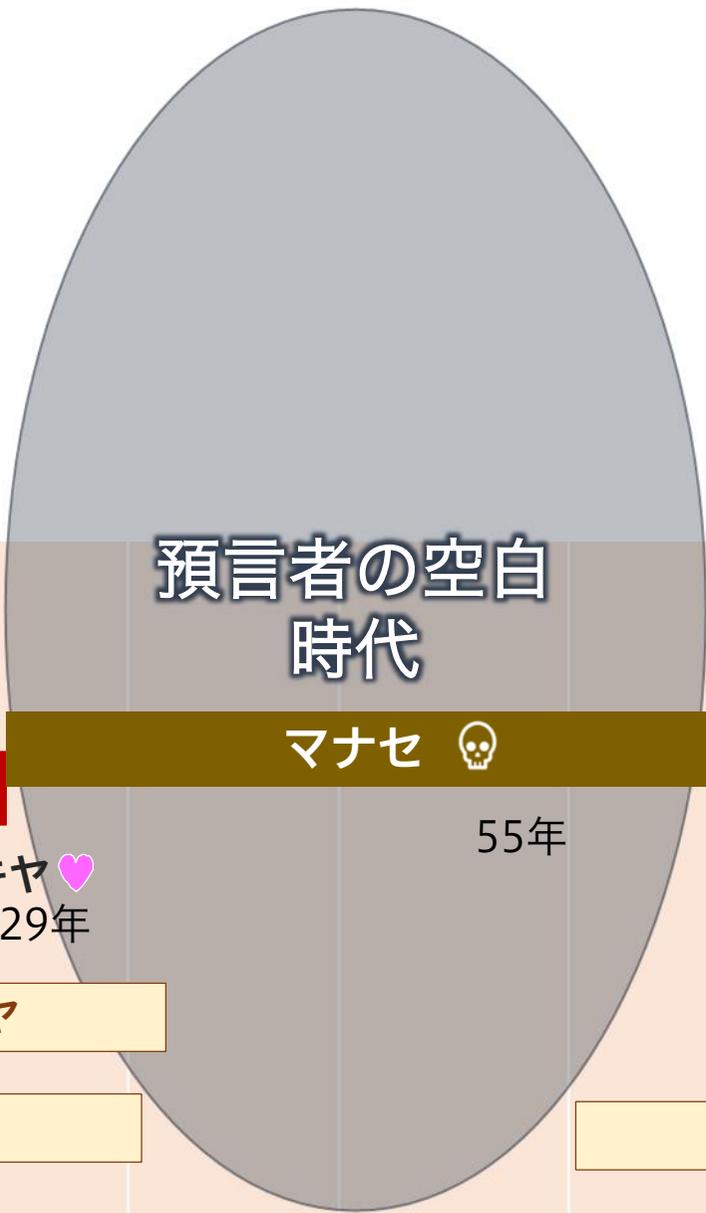
北王国  
イスラエル

南王国  
ユダ

アッシリア捕囚

BC722年

バビロン捕囚



預言者の空白時代

ヒゼキヤ ♡ 29年

イザヤ

ミカ

マナセ ☠ 55年

アモン ☠ 2年

エホアハズ 3ヶ月

ヨシヤ ♡

エホヤキム ☠ 11年

エホヤキン ☠ 3ヶ月

ゼデキヤ ☠ 11年

エレミヤ 45年

ハバクク

ゼパニヤ

## エレミヤが召命された時代

- 最悪の王マナセの暴虐の結果、南王国の滅亡は決定的!!
- 次代のヨシヤは、最後の善王。宗教改革を実施。  
→ 南王国の滅亡は確定。覆すことはできない
- ヨシヤ王の死後は、めまぐるしく王が入れ替わり、  
ついにバビロニアの侵略、滅亡 → **バビロン捕囚**

南王国が滅びに至る時代に派遣された 涙の預言者



# Ⅰ. 忘れ去られた最初の愛

エレミヤ書2章1～19節

シナイの荒野

## 第一連 はじめの愛 エレミヤ2:1~2

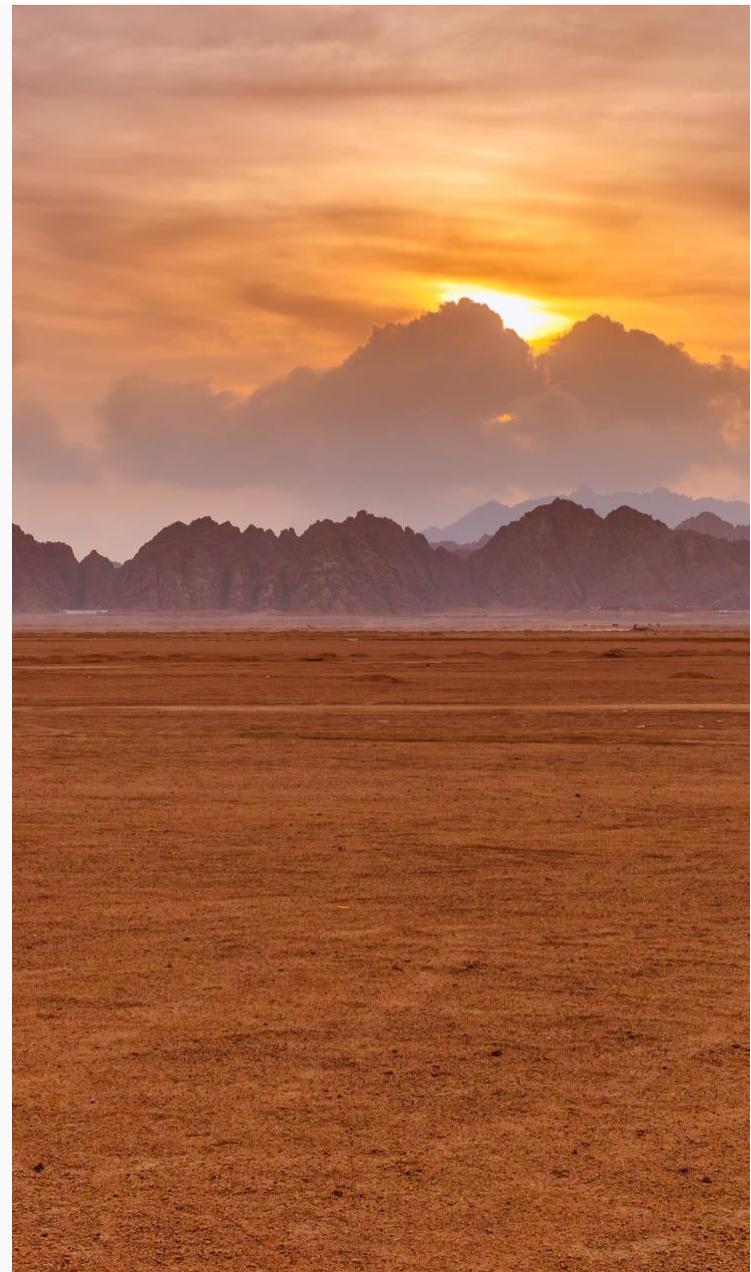
次のような【主】のことばが私にあった。

「さあ、行ってエルサレムの人々に宣言せよ。  
『【主】はこう言われる。わたしは、あなたの若いころの真実の愛、婚約時代の愛、種も蒔かれていなかった地、荒野でのわたしへの従順を覚えている。』」

■ 不平不満の末の、荒野の40年。

未熟な信仰でも、まだ主への愛があった。

➔ これ以上ないささげ物をした幕屋建設



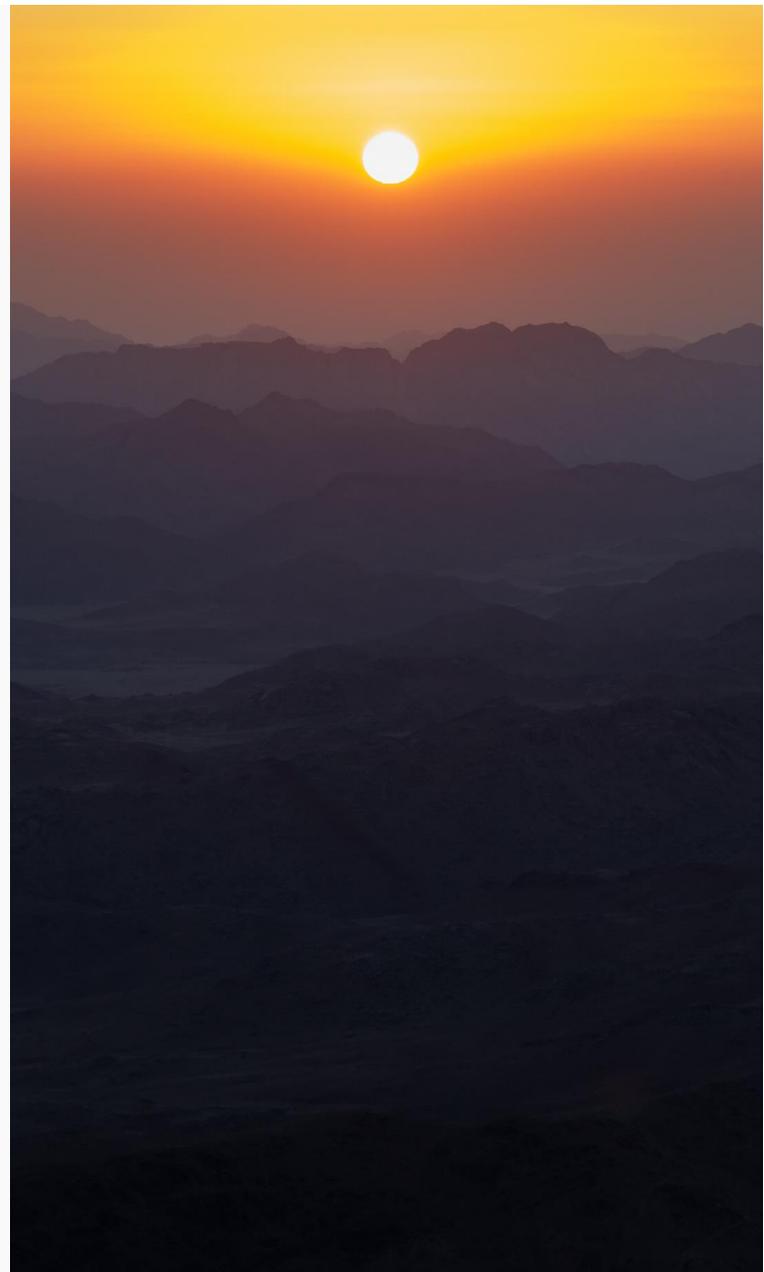
## 第一連 主の聖なる民 エレミヤ2:3~4

イスラエルは【主】の聖なるもの、その収穫の初穂であった。これを食らう者はだれでも罰を受け、わざわいを被った。——【主】のことば——

ヤコブの家よ、イスラエルの家の全部族よ、【主】のことばを聞け。

■ エジプトの絶滅政策からも、アマレクの暴虐からも、主がイスラエルを守られた。

➡ 約束のゆえに、聖とされた



## 第二連 空しいもの エレミヤ2:5

【主】はこう言われる。あなたがたの先祖は、わたしにどんな不正を見つけたというのか。わたしから遠く離れ、**空しいもの\***に従って行き、**空しいもの\***になってしまおうとは。

\*偶像礼拝者

■不貞以外の理由で離縁は不可(マタ5:32)

➔ 姦淫の女と交われば、姦淫の罪  
偶像と交われば、偶像となる

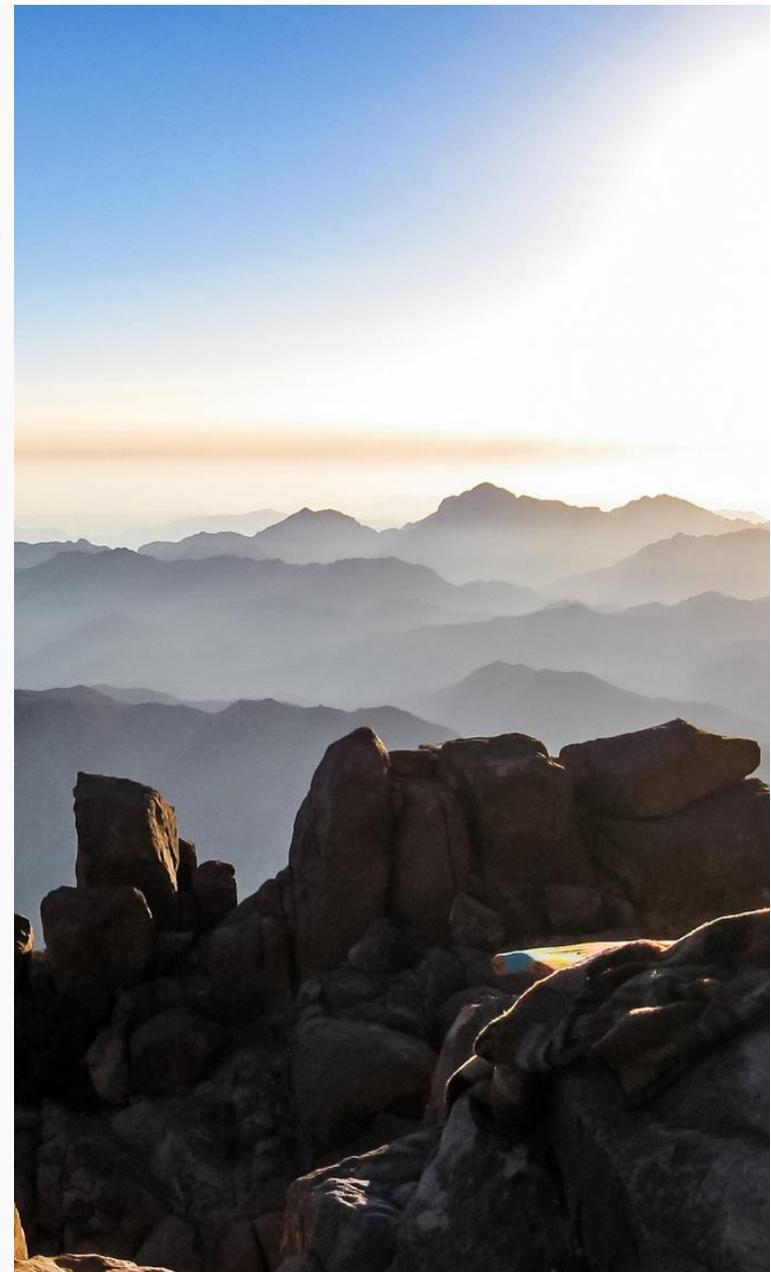


## 第二連 背教の極み エレミヤ2:6

彼らはこう尋ねることさえしなかった。

「【主】はどこにおられるのか。われわれをエジプトの地から上らせた方、われわれに、あの荒野、穴だらけの荒れた地を、乾いた、死の陰の地、人も通らず、だれも住まない地を行かせた方は。」

■ 罪に落ち込み、主を求めることさえせず、ルーツすら忘れてしまったイスラエル。



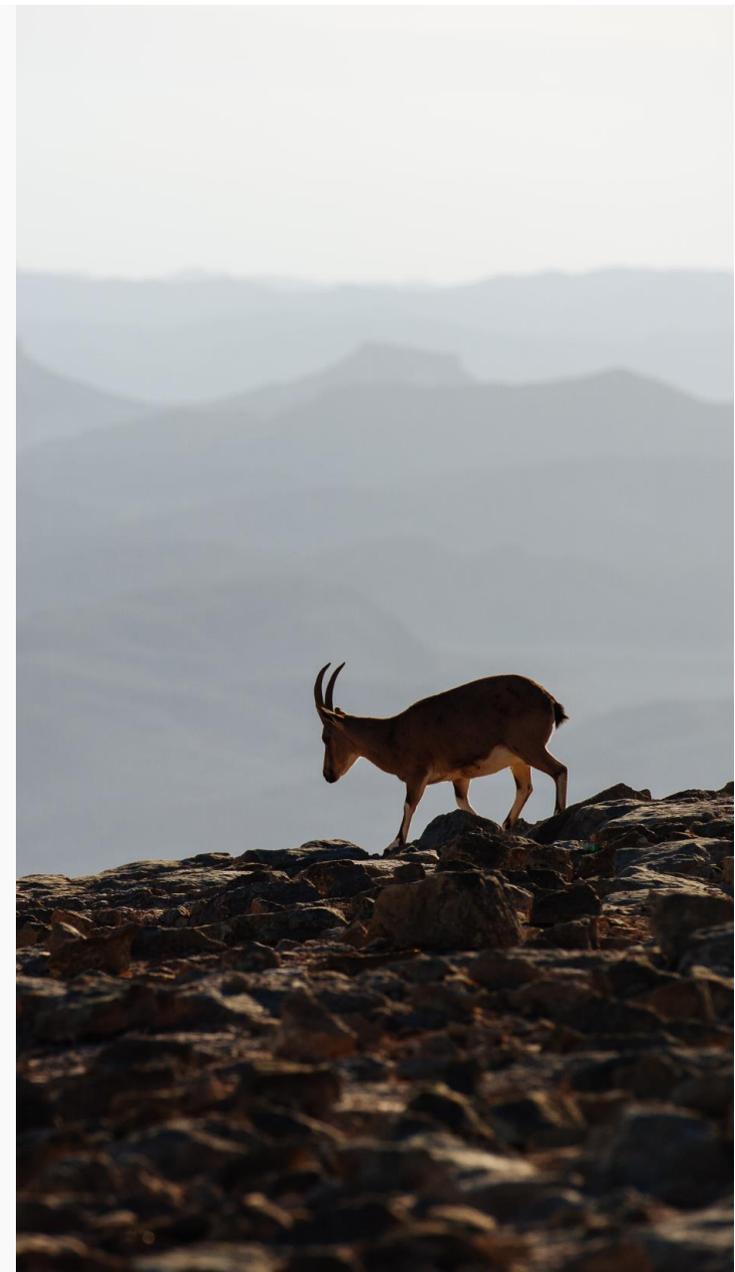
## 第二連 汚された約束の地 エレミヤ2:7

わたしはあなたがたを、実り豊かな地に伴い、その良い実を食べさせた。ところが、あなたがたは入って来て、わたしの地を汚し、わたしのゆずりの地を忌み嫌うべきものにした。

■ ヨシュアに率いられて約束の地へ。

次の世代には神を忘れ、混沌の士師時代へ。

➔ 聖絶し損なったカナン人の悪影響

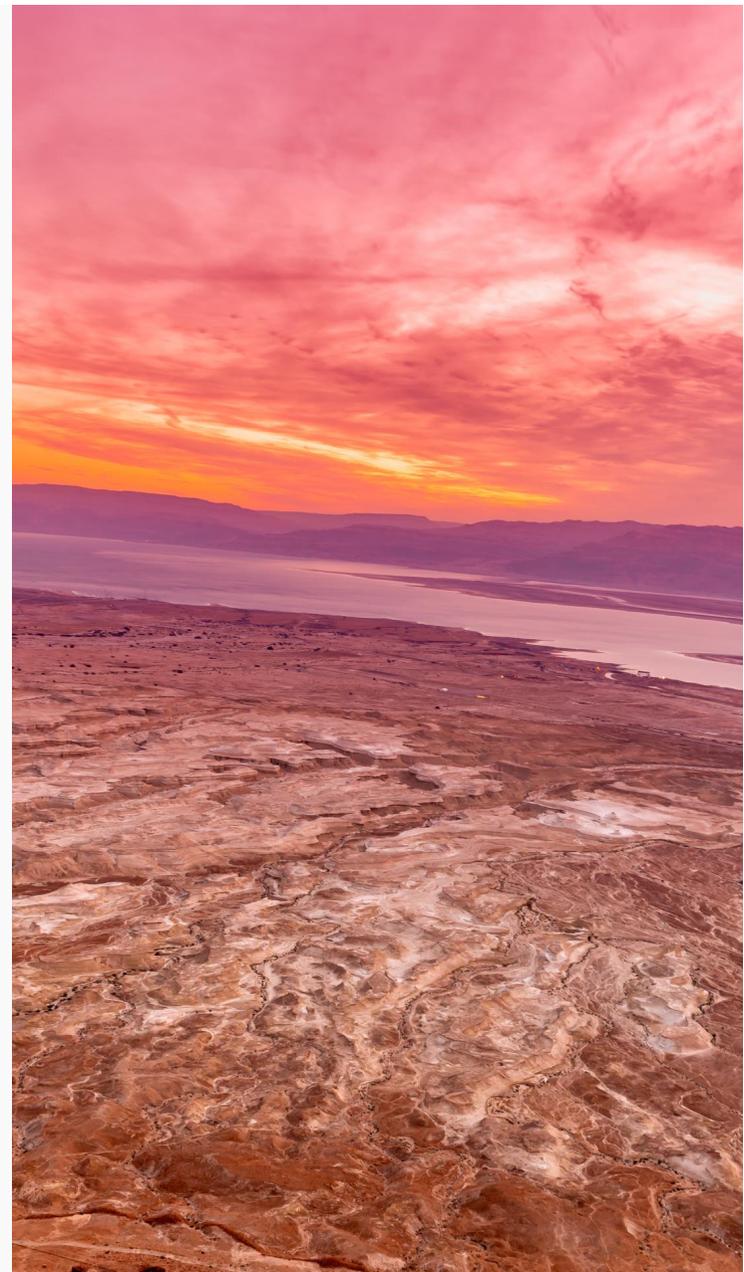


## 第二連 主による告訴 エレミヤ2:8~9

祭司たちは、「【主】はどこにおられるのか」と言うことがなく、律法を扱う者たちも、わたしを知らず、牧者たちもわたしに背き、預言者たちはバアルによって預言し、役立たずのものに従って行った。それゆえ、わたしはなお、あなたがたと争う\*。——【主】のことば——また、あなたがたの子孫と争う。

### \*神との裁判闘争

- 主に尋ねない祭司、律法を知らない知者、主に背く指導者、偶像に従う偽預言者…。



### 第三連 異邦人にもない罪 エレ2:10～11

キティムの島々\*に渡って、よく見よ。ケダル\*に人を遣わして見極めよ。このようなことがあったかどうか、確かめよ。

かつて、自分の神々を、神々でないものに取り替えた国民があっただろうか\*。ところが、わたしの民は自分たちの栄光を役に立たないものに取り替えた。

\*キプロス(地中海の島々)

\*イシュマエルの子孫の部族、アラビア半島

\*偶像礼拝者すら、自分の国の神々には忠実

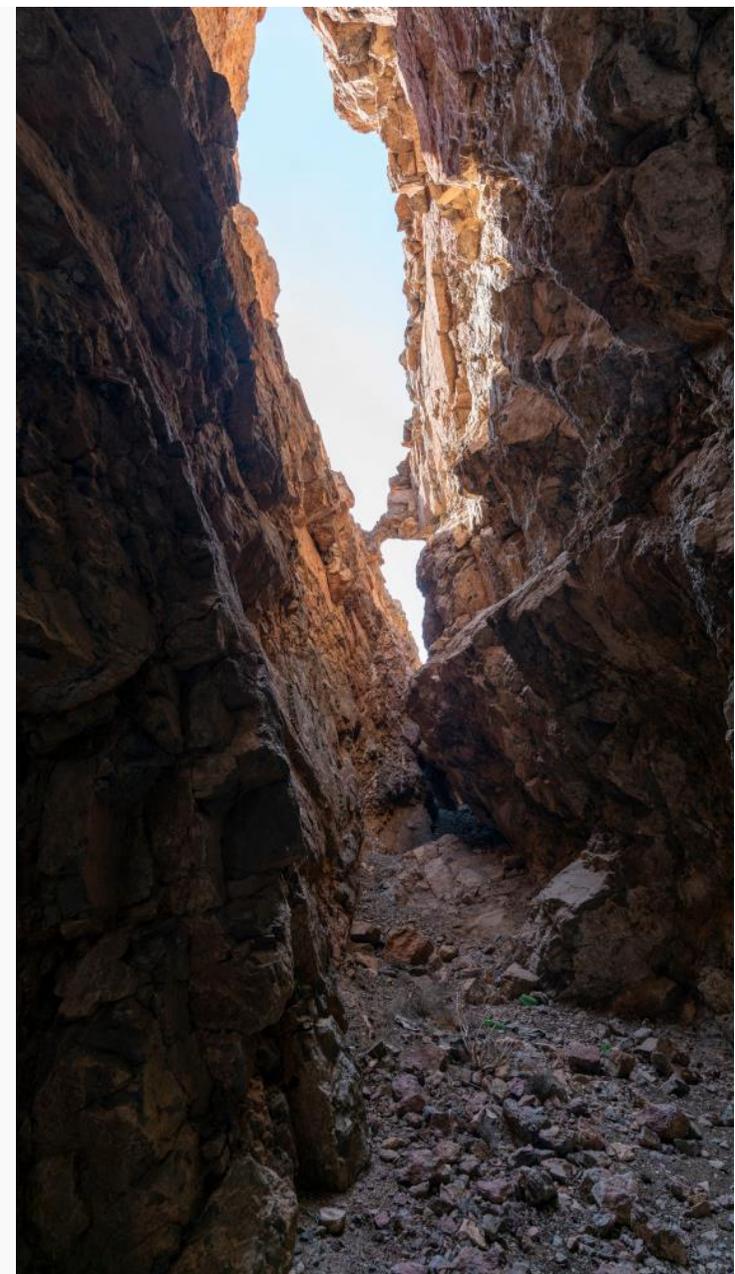


## 第三連 偶像の水溜め エレミヤ2:12~13

天よ、このことに呆れ果てよ。おぞ気立て。  
涸れ果てよ。——【主】のことば——

わたしの民は二つの悪を行った。いのちの水の泉であるわたしを捨て、**多くの水溜め\***を自分たちのために掘ったのだ。水を溜めることのできない、壊れた水溜めを。

**\*多くの偶像**



## 第四連 罪の奴隷 エレミヤ2:14~15

イスラエルは奴隷なのか。それとも家に生まれたしもべなのか。なぜ、獲物にされたのか。

若獅子\*は彼に向かって吼えたけり、うなり声をあげて、その地を荒れ果てさせる。その町々は焼かれて、住む者がいなくなる。

\*バビロニアのシンボル

■偶像礼拝により悪魔の奴隷に身を落とした。



## 第四連 主を捨てた末路 エレ2:16~17

メンフィスとタフパンヘス\*の子らも、あなたの頭の頂を剃り上げる\*。

あなたの神、【主】があなたに道を進ませたとき、あなたが主を捨てたために、このことがあなたに起こったのではないか。

\*エジプトの町々

\*エジプトの祭司は全身の体毛を剃った

■エジプトで奴隷となる者たちも



## 第四連 異国への依存 エレミヤ2:18

今、ナイル川の水\*を飲みにエジプトへの道に向かうとは、いったいどうしたことか。大河の水\*を飲みにアッシリアへの道に向かうとは、いったいどうしたことか。

\*偶像礼拝のエジプトやアッシリアに頼って



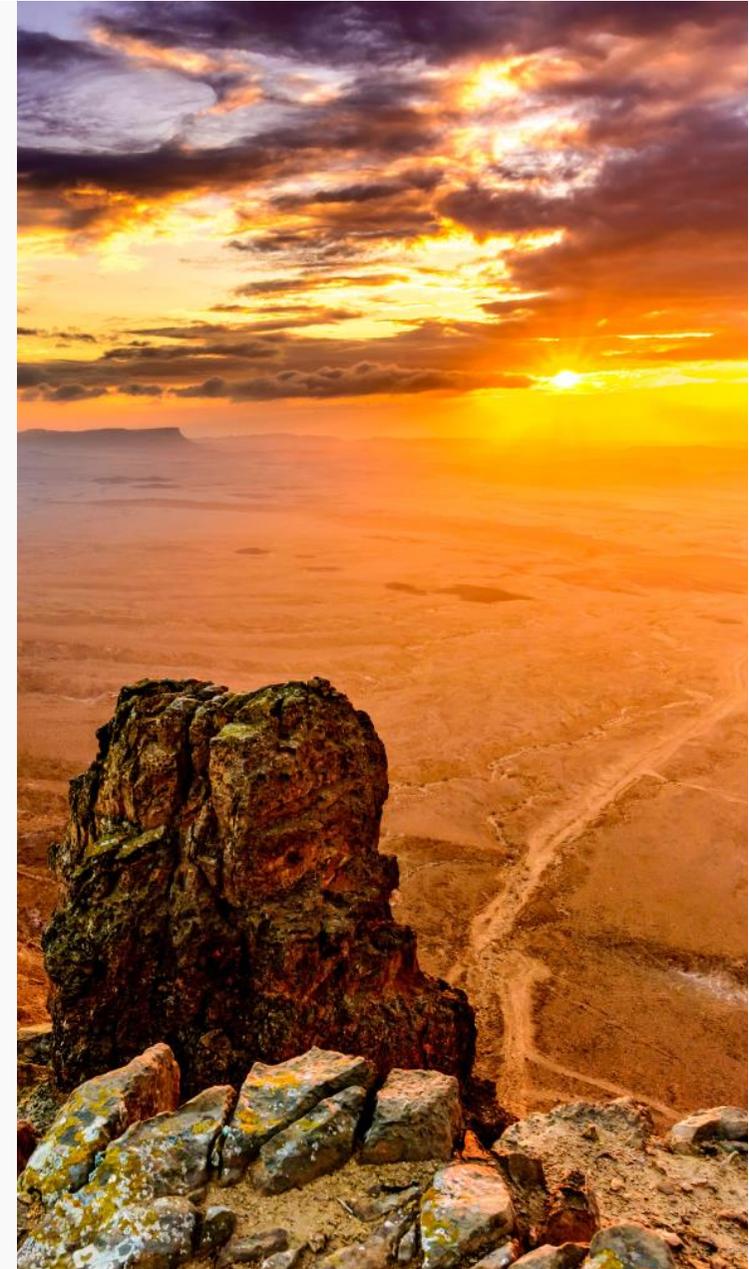
## 第四連 罪の刈り取り エレミヤ2:19

あなたの悪があなたを懲らしめ、あなたの背信があなたを責める。だから、知り、見極めよ。あなたがあなたの神、【主】を捨てて、わたしを恐れないのは、いかに悪く苦いことかを。——万軍の【神】、主のことば。

■ 主の裁きは、イスラエルの罪の刈り取り。

主への恐れがないのが、罪人。

➔ 罪の重さを身をもって知らされる





## II. 認罪なき者の末路

エレミヤ書1章20～37節

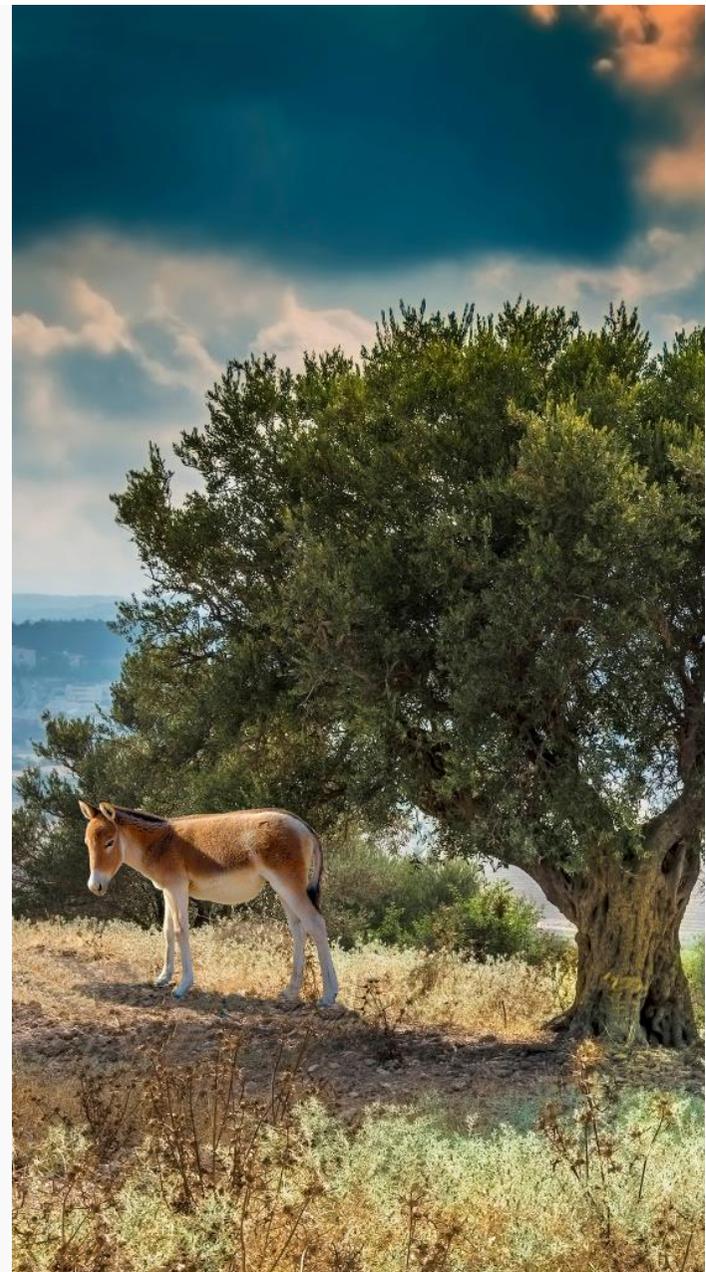
## 第五連 偶像のくびき エレミヤ2:20

実に、遠い昔\*にあなたは自分のくびきを砕き、  
自分のかせを打ち砕いて\*、「私は仕えない」  
と言った。まさしく、あなたはすべての高い  
丘の上や、青々と茂るあらゆる木の下\*で、寝  
そべて淫行を行っている。

\*偶像礼拝の歴史…ソロモンから百年以上。  
士師の時代からは数百年。

\*主の律法 → 誰のくびきか？ 二者択一

\*「高きところ」に偶像の祭壇が築かれた。



## 啓示 雑種のぶどう エレミヤ2:21

わたしは、あなたをみな、純種の良いぶどう\*  
として植えたのに、どうしてあなたは、わたしにとって、質の悪い雑種のぶどう\*に変わってしまったのか。

\*栽培種のぶどう = 主が生んだイスラエル

野生のぶどう = 異邦人

\*雑種のぶどう = 背教のイスラエル



## 第五連 拭えない咎 エレミヤ2:22～23

たとえ、あなたが重曹で身を洗い、たくさんの灰汁を使っても、あなたの咎は、わたしの前に汚れたままだ。——【神】である主のことば——

どうしてあなたは、「私は汚れていない。バアルの神々に従わなかった\*」と言えるのか。谷の中でのあなたの行い\*を省み、自分が何をしたかを知れ。あなたは、あちらこちら道を走り回るすばやい雌のらくだ\*。

\*信仰復興のさなか、口先だけ悔い改める者たち

\*ヒノムの谷では人身供養すら行われた

\*逃げ出したらくだ



形ばかりの  
信仰は無意味

## 第五連 靈的姦淫 エレミヤ2:24～25

また、欲情に息あえぐ荒野に慣れた野ろばだ。さかりのとき、だれがこれを制し得るだろう。これを探す者は苦勞しない。発情の月に見つけることができる。

裸足にならないように、喉が渴かないようにせよ\*。しかし、あなたは言う。「あきらめられません。他国の男たちが好きなので、私は彼らについて行きます」と。

\* 荒野の旅では致命的



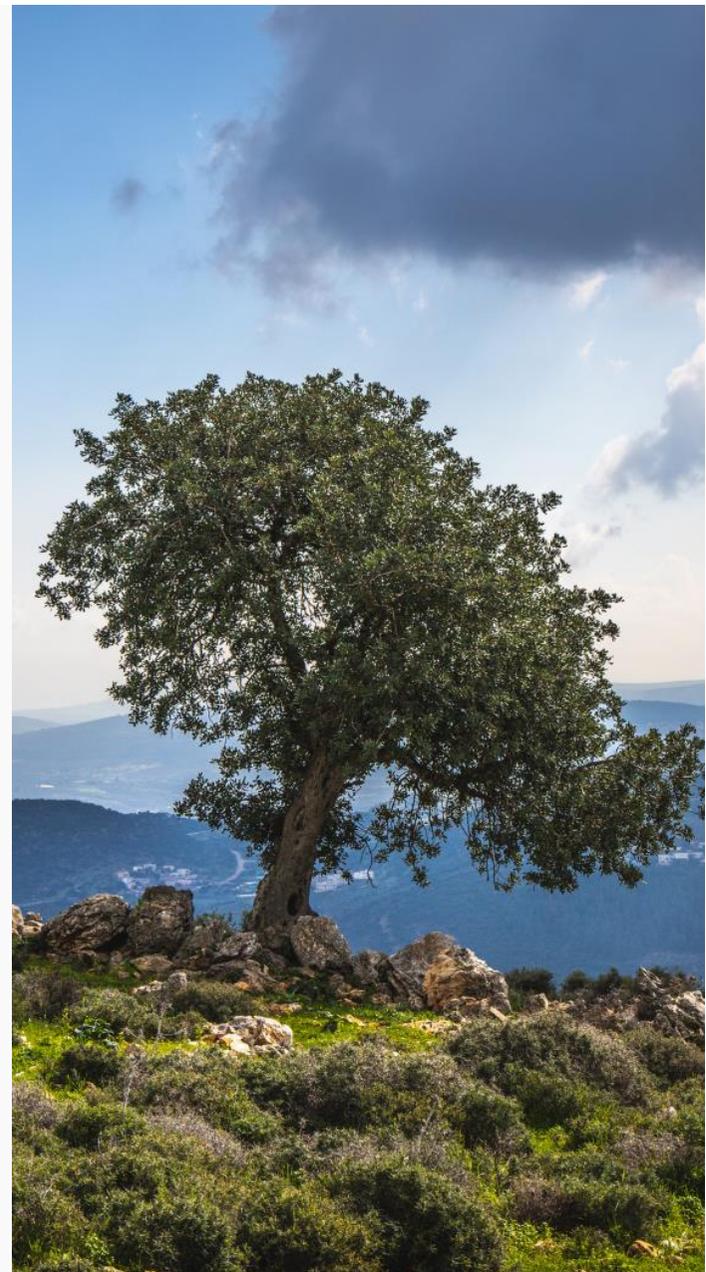
## 第五連 恵みの盗人 エレミヤ2:26～27

盗人が、見つかったときに恥を見る\*ように、イスラエルの家も恥を見る。彼らの王たち、首長たち、祭司たち、預言者たちも。

彼らは木に向かって「あなたは私の父」、石に向かって「あなたは私を生んだ」と言っている。実に、彼らはわたしに背を向け、顔を向けない。それなのに、わざわざのときには「立って、私たちを救ってください\*」と言う。

\*裁きの時に、捨て置かれる

\*繰り返されてきた、苦しいときの神頼み



## 第五連 町々の神々 エレミヤ2:28

では、あなたが造った神々はどこにいるのか。  
あなたのわざわいのときには彼らが立って救  
えばよい。ユダよ、あなたの神々はあなたの  
町の数ほどもいる\*ではないか。

\*国、町ごとに偶像を祭る異邦人のように



## 最終連 迫害者たち エレミヤ2:29~30

なぜ、あなたがたはわたしと争うのか。あなたがたはみな、わたしに背いてきた。——

【主】のことば—— わたしはあなたがたの子らを打ったが、無駄だった。彼らはその懲らしめを受け入れなかった。あなたがたの剣は、食い滅ぼす獅子のように、あなたがたの預言者たちを食い尽くした\*。

\*迫害されてきた預言者たち

- ➡ マナセ時代には壊滅状態に
- ➡ 若いエレミヤ、女預言者フルダ



## 最終連 民の拒絶 エレミヤ2:31

あなたがた、この時代の人々よ\*。【主】のことばに心せよ。わたしはイスラエルにとって荒野であったのか。あるいは暗黒の地であったのか。なぜわたしの民は、「私たちは、さまよい歩きます。もうあなたのところには行きません\*」と言うのか。

\*対象は、信仰復興の時代のイスラエル

\*数々の警告にも関わらず、北王国は滅亡。

南王国も捕囚の破滅に突き進む。

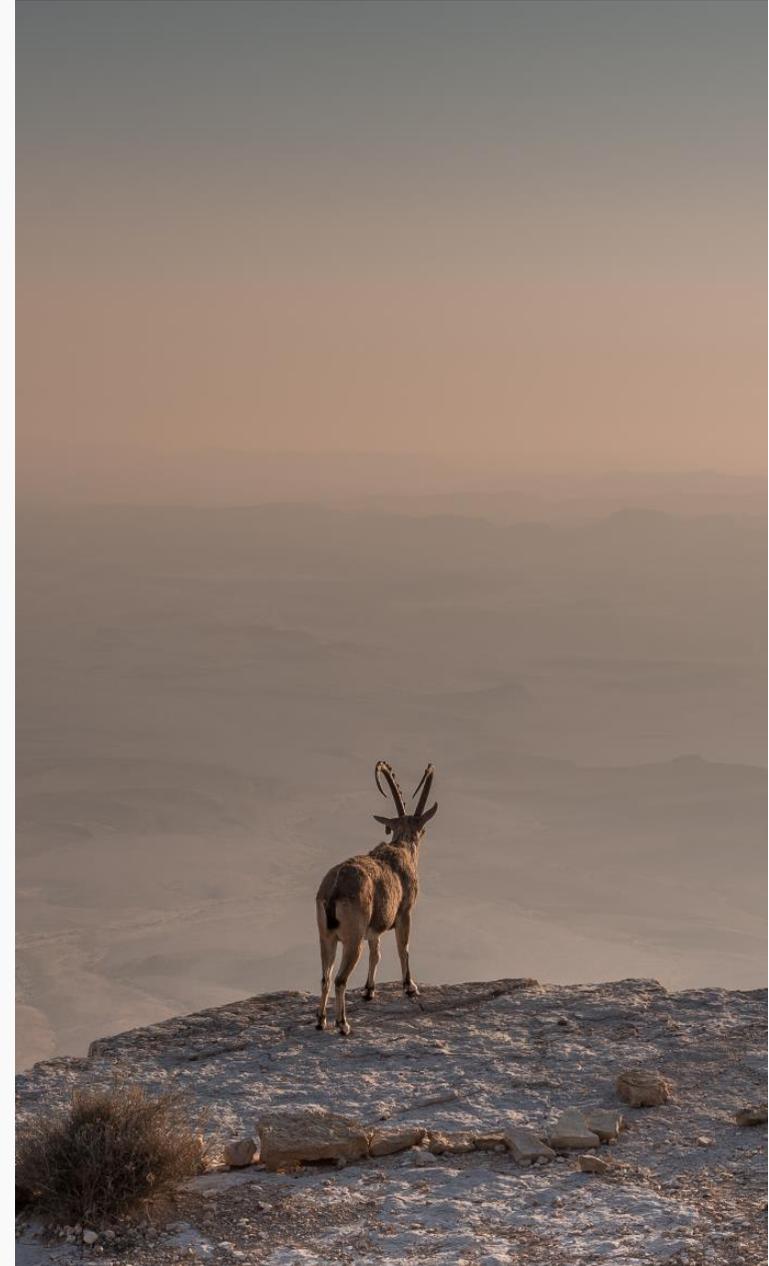


## 最終連 積み上がった罪 エレ2:32～33

おとめが自分の飾り物を、花嫁が自分の飾り帯を忘れるだろうか。しかし、わたしの民はわたしを忘れた。その日数は数えきれない。

あなたが愛を求める方法は、なんと巧みなことか。そのようにして、あなたは悪い女にさえ、巧みに自分の方法を教えた\*のだ。

\*異邦人が模範にするほどの偶像礼拝



## 最終連 認罪なき者たち エレミヤ2:34～35

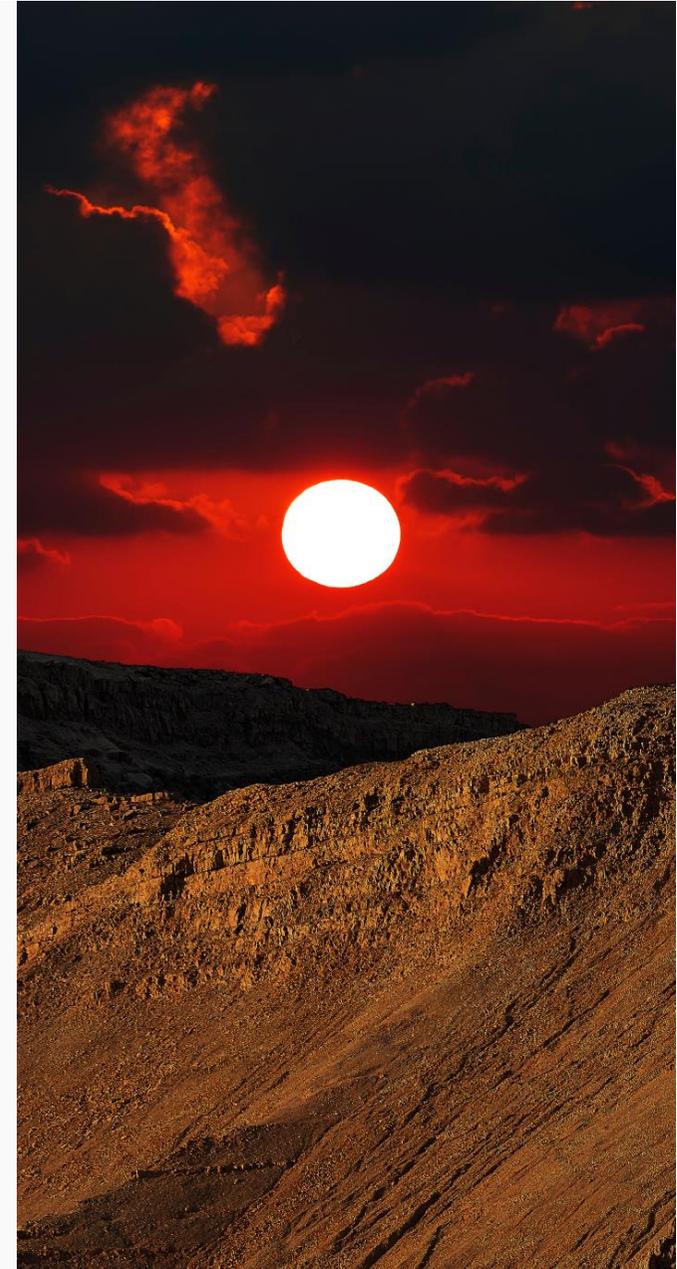
あなたの裾に見つかるのは、咎なき貧しい人たちの、いのちの血\*。彼らが押し入るのを、あなたが見たわけでもないのに。しかも、これらすべてのことにもかかわらず、あなたは言う。

「私は潔白だ。確かに、御怒りは私から去った\*」と。あなたが「私は罪を犯してはいない\*」と言うので、今、わたしはあなたをさばく。

\*マナセ時代の、抑圧と迫害、暴虐の血。

\*ヨシヤの宗教改革下でも、多くは偽り者。

\*自らの罪を認めない者に、裁きは下る



## 最終連 恥を見る民 エレミヤ2:36~37

あなたはなんと簡単に自分の道を変えることか。アッシリアによって恥を見たのと同様に、あなたはエジプトによっても恥を見る\*。

そこからも、あなたは両手を頭に置いて出て来るだろう\*。【主】が、あなたの拠り頼むものを退けられるので、あなたが彼らによって栄えることは決してない。

\*ヨシヤ王は、ファラオ・ネコと戦い戦死

➡この預言も与えられていただろうに…

\*捕虜となった姿





### Ⅲ. まとめと適用

主をこそ知り、真理を見極めよう

## ヨシヤ王とエレミヤ

- エルサレムに上り、主の裁きを告げたエレミヤ。  
しかし、エレミヤとヨシヤ王が対面した記事はない。
- 唯一の言及は、ヨシヤ王の死後（II 歴代35:25）  
「エレミヤはヨシヤのために哀歌を作った。男女の歌い手は、ヨシヤのことをその哀歌で語り伝えるようになり、今日に至っている。これはイスラエルの慣例となり、まさしく哀歌に記されている。」
- 思い浮かぶのは、サウル王ダビデの関係  
荒野に追われて以降、接点なし。サウルの死後、哀歌を歌った。

## ヨシヤ王の死

- アッシリアとの戦いのために上ってきたエジプトのファラオ、ネコと戦って戦死。  
➔ アッシリア側についた？ バビロニアを押しさえ込むため？
- 主は、ネコを通してヨシヤに警告。➔戦うな
- 晩年のヨシヤ王が犯した、神への背き。➔結果、死に至った。
- ヨシヤ王の功績は変わらない。➔エレミヤの哀歌

## ヨシヤは、なんとか滅びを免れようとした？

### ■ Ⅱ 列王23:25～26

ヨシヤのようにモーセのすべての律法にしたがって、心のすべて、たましいのすべて、力のすべてをもって【主】に立ち返った王は、彼より前にはいなかった。彼の後にも彼のような者は、一人も起こらなかった。

それにもかかわらず、マナセが引き起こした主のすべての怒りのゆえに、【主】はユダに向けて燃やした激しい怒りを収めようとはされなかった。

**覆されなかった神の裁き**

## ヨシヤの宗教改革の影で

- 神殿を皮切りに、アッシリア配下の北も含め、イスラエル全土から、偶像を取り除いたヨシヤ。
- しかし、多くの者の悔い改めは、偽りだった。  
真実の信仰者は、ヨシヤの時代にあっても少数だった。
- ヨシヤとエレミヤの接点の薄さは、現実を示すものか。

## 宗教改革が残した課題

- ルターらにより起こった、五百年前の宗教改革。
  - ➔ ○ 信仰と恵みによる救いの教理は回復。
  - ➔ ✕ イスラエルと終末についての教えは欠けたまま。
- 領主の信仰が民の信仰を決定 ➔ 激化した欧州内の戦争
- イスラエル論、終末論の本格的な回復は、19世紀頃から
  - ➔ 厳密な聖書解釈 ➔ メシアニック・ジューの増加

今は、かつてない信仰復興の時代でもある

## 二極化する世界 ～信仰復興と強まる背教～

- イスラエルの真の信仰者は常に少数。残れる者・レムナント
- 教会は、偽りの教えで膨張。悪魔が棲み着く(ルカ13:19～21)  
教会時代の真の信仰者も、やはり少数。
- 教会の背教はますます広がり、強まっていくだろう。  
ヨシヤのように、信仰者すら足下をすくわれかねない。

**腰を据え、主の御言葉に心を傾け、聞き続けていこう**

## ★ それは、神の御心か？ 自分自身のお心か？ ★

- よかれと思いながら、主の御心を拒んでいたヨシヤ王。
- 自分が描いたクリスチャン像、教会像を目的にしていらないか？  
「楽しい、嬉しい」 それはただの結果であって、目的ではない。
- 私たち信仰者の喜びは、ただ、主のさとしと教えにある。  
御言葉の学びを深めていこう。世に証しを立てていこう。  
主を見上げて歩む者同士を、主が結びあわせていってくださる。

**主を知っていこう。御言葉の真理を見極めていこう**

てん とう つみ  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ  
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし よろこ しゅ おし  
私の喜びは、主のさとしと教えにあります。

いのち みことば わたし こころ きざ  
あなたの命の御言葉を、私の心に刻んでください。

じぶんじしん まんぞく しゅ みこころ わたし もと  
自分自身の満足ではなく、主の御心を私は求めます。

しゅ たし やくそく た しゅ あか もの つか  
主の確かな約束に立ち、主を証しする者として遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」